※事務事業コード/ 0110040602 平成 26 年度 事務事業シート P1 課しあじさい館 事業年度期限 部署名 部 教育委員会 有 (平成 年度~平成 年度) 一般会計 款・項・目 100406あじさい館管理費 新規/継続 行政主体 総合計画コード 市民協働 2512 事業名 02あじさい館管理事業 (事業区分1) 市民相互交流を通し、市民の連帯意識の形成促進を図り、教養の向上、文化の振興及び健康増進に寄与する。 (成果) あじさい館の施設維持管理にあたり、施設の安全管理・衛生管理・空間環境の徹底を図る。特に、福祉館の浴場運営については法令を遵守して安全管理・衛生管理に努める。さ らに、あじさい館内の霞ヶ浦公民館・図書館・福祉館を子供から高齢者までの幅広い年齢層に亘って利用されるゆうゆう快適空間や場所を提供する。 (概要)

■事業費 (単位:円) 平成24年度 決算 平成25年度 決算 平成26年度 予算 事業内容あじさい館管理業務一括委託等 あじさい館管理業務一括委託等 あじさい館管理業務一括委託等 (特記事項) 〇25年度主な支出 国庫支出金 国庫支出金 国庫支出金 光熱水費 22,455,964円 県支出金 県支出金 管理業務一括委託21.913.500円 県支出金 市債 市債 市債 財源内訳 その他 その他 その他 6,475,000 80,187,000【01報酬】 一般財源 一般財源 一般財源 63,910,865 63,687,835 86,662,000 福祉館運営協議会委員報酬 63,910,865 63,687,835 計 24年度までは会議開催回数年1 節名称 余額 節名称 余額 節名称 余額 □ うち臨時分 節番 節番 節番 回であったが、委員からの要望に 01 報酬 01 報酬 01 報酬 52,500 105,000 120,000 より25年度から年2回開催となっ 11 需用費 33,285,728 11 需用費 32.384.999 11 需用費 30.850.000 12 役務費 633,698 12 役務費 778,474 12 役務費 680,000 【15工事請負費】 13 委託料 13 委託料 13 委託料 24,210,208 26,592,835 33,110,000 26年度:防水改修工事19.747.000 14 使用料及び賃借料 14 使用料及び賃借料 14 使用料及び賃借料 $2,051,3\overline{27}$ 2,072,000 2.095,736 16 原材料費 15 工事請負費 16 原材料費 19,747,000 【18備品購入費】 18 備品購入費 18 備品購入費 3,632,995 1,750,000 16 原材料費 10.000 |24年度:BEMS導入促進事業機 18 備品購入費 歳出内訳 27 公課費 73,000 25,200 器3.584.989円、受付用レジスター 48.006円 25年度:陶芸用電気窯1,750,000 1 |26年度:カラオケ選曲機73.000円 決算額計 63,910,865 決算額計 63,687,83 予算現額計 86,662,000 (参考) H24当初予算額 H25当初予算額 伸び率(%) 対・決 36.1 対∙予 56,708,000 57,399,000 51 人件費 職員人件費 2.00 人工 職員人件費 1.00 人工 職員人件費 1.15 人工 16,137,000 8,059,000 8,869,000 歳出+職員人件費 総事業費 80,047,865 歳出+職員人件費 歳出+職員人件費 95,531,000 71,746,83

■指煙

_	■ 1H19							
7	重類	指標名	単位	説明		平成24年度	平成25年度	平成26年度
3	舌動	浴槽水水質検査回数	□	浴槽水残留塩素検査回数	目標_	<u>1,212</u> 1,216	<u>1,204</u> 1,204	1,208
ŧ	指標	法定4項目水質検査回数	回	検査機関が実施したレジオネラ菌を含む4項目検査回数	目標	$ \frac{4}{4}$	<u> </u>	4
J.	火米	開館日数	日	利用者の重大事故等を防止し、安全に開館した日数	目標_	$ \frac{303}{304}$	<u>301</u> 301	302
ŧ	指標				目標_			

■事務事業の点検

必要'	性	9	뫄	栓
火なる	т	v		13

- 法定受託事務であるなど、市が実施する義務がある
- □ 事業を休廃止した場合、市民生活(行政サービスの提供)に深刻な影響が発生する
 - 社会情勢の変化を踏まえても十分なニーズがある(ニーズを説明できる)
- 【必要性 Total判定】口
- A:高い(義務) ○ B:普通
- O C:低い <Total判定の根拠など、必要性に関する補足説明>

あじさい館を通じて市民相互交流が生まれ、市民の連帯意識の形成促進が期待される。市民の 連帯意識の形成を図るためにあじさい館が活動拠点として果たす役割は大きい

目標達成状況の点検

- ✓ 活動に関する昨年度の目標は概ね達成できた
- □ 成果に関する昨年度の目標は概ね達成できた
- 「取り組み方針(改善方針)」など指標に表れない事項について昨年度の目標は達成できた
- 【目標達成状況 Total判定】
- A:目標よりも大きな成果が得られた

 B:概ね目標の成果が得られた
- C:目標とする成果が得られなかった

<Total判定の根拠など、目的達成状況に関する補足説明>

浴槽水及び法定4項目水質検査(年4回:6月、9月、12月、3月)を年間通じて実施したことによ り、福祉館として安全に開館したことで概ね目標の成果が得られた。

実施内容・方法の点検

- 社会情勢やニーズの変化等を踏まえると、サービス対象・水準を見直す必要がある
- 当該事業の受益者が特定の個人や団体に偏っている
- 民間事業者やNPOなどに任せられる業務がある
- コストを下げる工夫が考えられる
- 成果を高める工夫が考えられる

【実施内容等 Total判定】口

- A:見直す余地があり直ぐに実施 ● B:見直す余地があるが時間が必要
- C:見直す余地がない

<Total判定の根拠など、実施内容・方法に関する補足説明>

高橋興業に一括管理委託業務を委託し、施設の管理運営を行っている。当該事業について効 果的な管理運営等についてお互いに協議している。

■課題と対応方策

・施設の経年劣化により、修繕を要する箇所が次々と発生する中、予算縮 課題 小により修繕費予算の確保が厳しい状況にある。 次年度における施設の修繕等については、安全で快適な施設利用に向け、緊急性や必 対応方策 要性、利用者ニーズを踏まえ、計画性をもって予算確保に努める。 (改善方策) 中長期的な視今後も末永く拠点施設として定着させるため、適切な維持管理を行い施 点での対応方 、設機能の水準を保持することを目指す。また、FM事業の中で適正管理 を検討するとともに、指定管理者制度の導入も検討していく。 (改善方策)

■今後の方向性					
	一次評価【課長評価】				
評価者	あじさい館長 中泉 栄一 <mark>担当課名</mark> <mark>あじさい館</mark>				
事業の方向性	○ このまま継続 ③ 改善して継続 ○ 休廃止 (年後を目処)	○ 終了			
事業費の方向性	○ 増額 ● 現状維持 ○ 減額				
取組方針	あじさい館も17年目を迎え、傷みや故障が多く見受けられることが 用者の安全を第一に考え、施設の適正な修繕、管理を進めてい 指定管理者制度の導入の準備を進めていく。				

1	二次評価【部長評価】				
	部長名	□小松塚 隆雄	担当部名中教育委員会		
	確認	. □ 【 確認			
]		長期的な存続に向け、施設の計画的な修繕の必要性が増すよう、利用者			
1		の増加につながる運営改善の一策として指定管理者制度の導入を検討			
		してください。			